

Kobe-Seattle Sister City Association

KSSCA

神戸ーシアトル姉妹都市協会

The NEWS Letter vol.2

2005年7月

~~~~~ contents ~~~~~

- 神戸市長を表敬訪問
- シアトルー神戸姉妹都市協会 カーリン・ザーク会長からのメッセージ
- 八木代表のシアトル訪問記
  - ・シアトルで活躍する神戸出身のガラスアーティスト Koda Masami さん
  - ・Lawton School 訪問記
  - ・シアトルでお会いした方々 ”Hello!! From Seattle”
- 神戸で活躍するシアトル人 マリッサ・ナカミチさん
- シルバーカレッジの学生がシアトルを訪問
- ワシントンワインメーカーズディナーに参加
- 震災10年 神戸からの発信 日米子育てフォーラム in Kobe (Part1)開催
- ホストファミリー登録受付
- Special Thanks



## 神戸市長を表敬訪問

3月15日に、八木会長が神戸市役所に矢田立郎市長を表敬訪問しました。

神戸ーシアトル姉妹都市協会設立についてのご挨拶と、協会設立の趣旨や、2007年の姉妹都市提携50周年に向けた活動など、今後の活動内容についてご説明しました。矢田市長からは、今後、広く市民間レベルの交流を深めていけるよう、両市の交流の架け橋になってください、と協会への期待のお言葉をいただきました。



## シアトルー神戸姉妹都市協会 カーリン・ザーク会長からのメッセージ



Greetings from Seattle!

It is my great pleasure to send greetings to you from Kobe's sister city of Seattle. Seattle and Kobe have a long, rich history of 48 years of sister city relations, including our sister port relationship, and partnerships with many organizations in our cities, ranging from Kobe Matsuri & Seattle's Seafair festival, our YMCA exchanges, and the Seattle Yacht Club and Suma Yacht Club, to just name a few.

For many years, our non-profit, citizen volunteer organization, Seattle-Kobe Sister City Association, has worked with the City of Seattle and other organizations to facilitate our sister city exchanges. We are very excited to have a new partner in Kobe with the creation of the Kobe-Seattle Sister City Association. One of our relationships' great strengths is the diversity and breadth of the ties that bind our citizens together. The more people involved the better!

I have been President of the Seattle-Kobe Sister City Association since 1998. In that time, we have created new exchanges around baseball and jazz, two things that our Kobe friends love as much as we do! We have been blessed in Seattle to have Ichiro playing for the Seattle Mariners baseball team, which has greatly increased tourism traffic from Japan. Over the last five years, our jazz exchange with the Shinkaichi Music Street organization has been very successful as we hosted five Kobe Jazz Queens for a yearly concert at Dimitriou's Jazz Alley. This year for the first time, we held a jazz contest in Seattle to send two female jazz vocalists to Kobe to perform in Kobe in October. Please plan on attending this concert and helping to welcome them.

Recently the Director of the Kobe-Seattle Sister City Association, Yagi Eri, visited Seattle for many conversations and meetings with local Seattle groups and our SKSCA board members. We are excited about working together to plan wonderful commemorative events and activities as we celebrate our 50<sup>th</sup> anniversary of sister city ties between Kobe and Seattle in 2007.

Thank you so much for your support of the newly formed Kobe-Seattle Sister City Association. In Seattle we will do our best to support you, and look forward to working together in the years to come.

Karin Zaugg  
President (Kaicho)  
Seattle-Kobe Sister City Association

神戸の姉妹都市、シアトルからご挨拶ができて、大変嬉しく思います。

シアトルと神戸には、48年の長く豊かな姉妹都市関係の歴史があります。これまで、姉妹港関係をはじめ、神戸まつりとシアトルのシーフェア・フェスティバルや、YMCAの交流事業、シアトルヨットクラブと須磨ヨットクラブなど、双方の多くの団体がパートナーシップを結んできました。

シアトルの非営利市民ボランティア団体、シアトルー神戸姉妹都市協会は、長年、シアトルと神戸の姉妹都市交流を促進するために、シアトル市や他の団体と連携しながら活動してきました。私たちは、神戸ーシアトル姉妹都市協会が創設され、神戸に新しいパートナーができて、大変喜んでいますが、私たちの関係の長所は、双方の市民が多様で幅広いきずなで結びついていることです。関わる人が多いほど、より素晴らしい関係が生まれます！

私は、1998年からシアトルー神戸姉妹都市協会(SKSCA)の会長を務めています。これまでの間に、シアトル市民と同様、神戸の皆さんにも愛されている、野球とジャズの交流を新たに始めました！シアトル・マリナーズにイチローを迎えるという幸運にも恵まれ、日本からの観光客は飛躍的に増加しました。また、ここ5年間、新開地ミュージックストリート実行委員会とのジャズの交流も成功を収めています。私たちは、5人の神戸ジャズヴォーカルクイーンを招き、シアトルの Dimitriou's Jazz Alley で毎年コンサートを開催してきました。今年は初めて、シアトルでもジャズコンテストを開催し、2名の女性ジャズヴォーカリストが10月に神戸の舞台に立つことになっています。ぜひこのコンサートに参加し、2人の受け入れに協力してください。

最近、神戸ーシアトル姉妹都市協会の八木会長がシアトルを訪問し、関係団体やSKSCA役員とのミーティングに参加しました。私たちは、2007年の神戸・シアトル姉妹都市提携50周年を祝う記念イベントや活動を一緒に計画できることを大変楽しみにしています。

神戸ーシアトル姉妹都市協会にご協力いただき、本当にありがとうございます。シアトルでもできる限りの支援を行っていきますので、今後とも連携して活動していきましょう！

カーリン・ザーグ

シアトルー神戸姉妹都市協会会長

## 八木代表のシアトル訪問記

4月22日から5月10日まで、シアトルを訪問しました。今年は暖冬で、例年に比べ雨も少なく、桜の開花もとても早かったそうです。水不足の問題は、あらゆるところで心配されていました。

シアトルに着いた翌日は、Cherry Blossom&Japanese Cultural Festival という毎年シアトルで行われているイベントに参加しました。会場もいくつかの建物に分かれて、中では日本の伝統・文化などを紹介し、実際に着物を身につけて写真を撮ることが出来るブースもあり、ステージでは琴・和太鼓などの演奏も行われていました。アメリカで生まれ育った日系の2世、3世の人たちは日本語を全く話せないけれど、日本の伝統や文化を日本の若者たちよりずっと大切にし、受け継いでいるのがとても印象に残りました。



また、シアトル市役所で行われた Sister City Reception にも出席しました。Greg Nickels・シアトル市長にご挨拶をし(写真①)、シアトル市と姉妹都市関係にあるウズベキスタン・韓国の方々の歌や踊りを楽しみながら、久しぶりにお会いする方々との会話も弾みました。

Kobe Trade Information Office (神戸市シアトル事務所) の山本所長への訪問や、シアトルー神戸姉妹都市協会のカーリン・ザーグ会長と他のメンバーとの会合も実現しました。(写真②)

今回は、前回のニューズレターでご紹介した Lawton Elementary School、日系コンサーンズのシアトル敬老ナーシングホーム (Nikkei Concerns, Keiro) (写真③)、キッズ・ケア・センター(Kids Care Center)をはじめ、日米協会、YMCA、その他神戸に関連している方々に加え、COSTCOなどの企業にも訪問することができました。(写真④)また、新たに神戸との交流に関心を持っていただいた

CREST SCHOOL への訪問では、私たちが子どもの教育環境を考えるうえで大事なことについて共感することも多かったです。

今回の訪問では、神戸ーシアトル姉妹都市協会設立の報告ができたこと、そしてシアトルで会った全ての方が本当に心温かく迎えてくださり、今後の両市の関係が益々発展していくよう自分たちにできることを前向きに考えあう機会を様々な場面で持つことができたこと、神戸をPRしつつ、改めて神戸を客観的に見ることができたことで、また一步を踏み出すエネルギーとなりました。



## <シアトルで活躍する神戸出身のガラスアーティスト Koda Masami さん>

シアトルは、全米で最もガラスアートが有名な場所で、多くのアーティストがシアトルに住んでいます。全米を代表するアーティストとしては、Dale Chihuly, Dante Marioni, Paul Marioni, Benjamin Moore, Preston Singletary, Ginny Ruffner, Katherine Gray, William Morris などがいます。

今回のシアトル訪問で、神戸出身のガラスアーティストとしてシアトルで活躍されている Koda Masami さんにお会いすることができました。そこで、今回はシアトルで活躍する神戸人 Koda Masami さんをご紹介します。

彼女にコンタクトをとり、自宅兼工房へお招きを受け、色々とお話を伺いながら、実際に作品を作っている様子を見せていただいたり、シアトルで活躍する他のガラスアーティストを紹介していただき、彼らのスタジオやショップへと案内していただきました。Koda Masami さんは、ご自分の作品製作の他に、大事故に遭って奇跡的に一命を取り留め、不自由な身体でも作品を作り続けている有名なガラスアーティスト Ginny Ruffner の作品製作のアシスタントもされています。

私自身も、以前からガラスアートに興味があったのですが、今回様々な違った技法のガラスアートの世界に触れ、その奥の深さや、作っている方たちそれぞれの想いを身近に感じ、ますますその魅力にとりつかれました。

シアトルのシータック国際空港では、Ginny Ruffner の作品が多く展示されています。

ダウンタウンシアトルにある Seattle Symphony のガラスライツは Dale Chihuly の作品で息をのむほど素晴らしいものです。

他にも、Seattle Museum, Foster White Gallery, William Traver Gallery など有名なガラスアートの作品に出会えます。皆さんがシアトルを訪問される機会があれば、是非立ち止まってガラスアートの世界にも触れてみてください。

そして、神戸出身の Koda Masami さんのこれからの益々のご活躍に期待し、応援していきましょう。

(八木 絵里)



## (Masami biography)

シアトルは、エメラルドシティーと呼ばれ大自然に囲まれていて、マイクロソフト、ボーイング、スターバックス等の企業があり、また、ガラスの町として有名です。私がシアトルに来たのは、1994年でした。

シアトルの姉妹都市 神戸で生まれ育ち、1989年に大阪芸大金属工芸学科を卒業後、アメリカ・オハイオ州の Cleveland Institute of Art でガラスを3年間勉強しました。大阪芸大では、金属工芸を勉強していましたが、なぜかガラスが勉強したくなり色々学校を調べた結果、アメリカに渡米することになりました。オハイオ州の学校で3年勉強した後、もっと本格的にガラスが勉強したくなり1992年にニューヨーク州にあるアルフレッド大学のガラスの大学院に入学しました。そこで、色々なガラスのテクニックを習得し、大阪芸大で学んだ金工の技術を生かして作品を作りました。人脈もそこで習得して、学校の夏休みにピルチャックガラス学校（デイル・チフリーが設立した夏だけ授業があるピルチャックガラス サマースクール）でアシスタントをしたガラス作家のジェームス・ミンソンさんを頼り1995年に大学院を卒業し、シアトルに移り住みました。彼は有名なガラス作家 ジニー・ラフナーさんのアシスタントをしていて、サブアシスタントという形で仕事をもらい、査証もラフナーさんが協力してくれて得ることができ何もかも上手くいっているようでしたが、現実には甘くなかったです。ミンソンさんのアトリエを借りながら、こつこつとミンソンさんのお手伝いをしていましたが、常に仕事があるわけでもなく食べていくのがやっとな自分の作りたい物を製作する精神的な余裕がありませんでした。そんな時、仕事から帰ってきて来ると留守電が3つ入っていました。それを聞いてみると、神戸で大地震が起きたことで友達が心配して残してくれたものでした。急いで実家に電話しましたが、つながりませんでした。家族と連絡できたのは、3日後で誰も怪我もなく、家も少し傾いたぐらいでした。この大惨事をきっかけに、何か私の中で動き出し何かしなくてはという気持ちに駆られました。そして、遠く離れていても、私に何かできることがあるかな？と亡くなった方々や苦しんでいる方々の事を思っているうちに、“Departure”という作品が出来上がりました。小さなグラスボトルの中には鳥の羽が入っていて、鳥が自由に空を飛んでいくように亡くなった方々の魂が心休まる場所へ行かれますようにという思いを込めて作りました。多くの方々がこの大惨事が人生を変えたように、私にとっても分岐点でした。人に頼り気味だった私でしたが、もっと積極的になりギャラリーなどを回り自分を売り込めるようになりました。まだまだ作家としては未熟者ですが、今では1~2年に1回は個展ができるようになり、ラフナーさんのアシスタントも続けさせてもらっています。

(Koda Masami)





## <LAWTON SCHOOL を訪問>



ダウンタウンシアトル北西部の Magnolia にある、Lawton School を訪問しました。Carol Anderson 先生をはじめ、多くの先生方から大歓迎を受け、Kindergarten Class (6 歳児クラス) へ案内されて入ると、1 人の女の子が走り寄ってきて、この日のために先生から習ったのでしょうか、笑顔で「おはようございます」と、たどたどしいけれど、とても丁寧な言葉で挨拶をしてくれました。クラスの皆も「Yagi Sensei」「Ryota (5 歳の息子の名前)」と、声を掛けてくれました。

訪問初日は、見学のみでしたが、5 歳の息子はクラスに入って、他のお友達と同じように 1 日を過ごしました。朝の挨拶に始まり、この日は「SEED (種)」について学び、教材を使ってお話を聴き、実際にりんご、ピーマン、かぼちゃなどの種を手にとり見てみました。子供たちは手を上げて、1 人ひとり自分の意見をしっかりと発言していました。最後に、クラス全員がそれぞれ自分の植木鉢に、Daisy の種を植えました。「シアトル滞在中に芽を出しますよ」と息子が種を植えた鉢を先生は持ち帰らせてくださいました。

その後、ジムに行って皆でリズムに合わせて身体を動かしたり、「マカレナ」を踊ったり、食堂でランチを買って食べたり、戸外でバスケットボールや遊具で遊んだり、息子にとっては初めての体験でした。周りの友達と関わりあって、何やら会話(?)をしていました。「Yes!」「No!」の返事は、いつもはっきりとして意思を伝えていました。



2 度目の訪問の 5 月 5 日は、日本では「子どもの日」ということで、クラスの子供たちに日本の伝統行事の「子どもの日」について紹介し、五月人形の写真や刀を見せたり、新聞紙でかぶとを折ったり、「こいのぼり」の歌を皆の前で歌って教えてあげました。皆、とても楽しそうに一緒に歌っていました。鯉のぼりと一緒に、日本の伝承の遊びである独楽、けん玉、凧、紙風船、そして色紙で折った鶴、手裏剣、やっこさんなどをプレゼントしました。日本の子供たちの生活を紹介するため、初日に息子は幼稚園の制服で訪問しました。アメリカでは制服はめずらしく、先生方や子供たちからとても感激され、高い評価を受けました。また、日本での園生活、行事の写真を 1 人ひとりに見せながら、



息子が説明をしました。クラスの子供たちにとっては、見るもの全てが初めてであり、その1つひとつに興味深く質問しながら見ていました。中には神戸にとっても関心を持ってくれた子供もいました。

今回の訪問で日本に興味・関心を持ってくれた子供たちは、先生方がこの交流を機に校内に作った **Japanese Learning Center** の部屋で、日本の伝承の遊びをその後も毎日楽しみ、プレゼントしたひらがな表を貼って、日本語の学習もしているそうです。

年齢的なものもあったでしょうが、子供同士を見ていると、言葉の壁はあまり気にならず、同じ時間を共有し、一緒に遊び、楽しいときを過ごしていました。息子は英語も驚くほど吸収し、周りを驚かせていました。自然に口から先に英語が出るほどになり、子供の吸収の早さ、適応力のすごさに大人は羨ましい限りでした。

日本のTVアニメの、「ポケモン」と「遊戯王」は特にアメリカの子供の間で流行っています。息子は日本から、皆に配ると持って行ったポケモンのシールを全員にあげて、別れ難く握手をし、言葉を交わしていました。

多国籍国家であるアメリカの学校では、色々な国の文化に触れる機会が多く、子供の頃から世界を知り、視野を広げています。息子は今回、アメリカには様々な人種の人がいることを自然に学んだようでした。

**LAWTON SCHOOL** で異文化交流ができたことを嬉しく思い、今後もこの輪を大切にしていきたいと思います。息子の植えた種は滞在中に芽を出し、今はシアトルの家庭で花の咲くのを待っています。花を咲かせたデイジーの写真が送られてくる日も近いでしょう。

(八木 絵里)



<シアトルでお会いした方々 ”Hello!! From Seattle” >

八木会長がシアトルを訪問中、神戸にゆかりのあるたくさんの方々にお会いしました。



(Associate Executive Jill K. Turner)



(神戸市シアトル事務所・山本所長)



(Lawton School・Carol Anderson 先生)



(KSSCA・Karin Zaugg 会長)



( Beth Kollé Family )



(Mrs. Akizuki Mrs. Katsumoto)



(神戸市シアトル事務所スタッフ・  
現アシスタント Devin さん (中)、  
前アシスタント Sandy さん (右))



(兵庫県ワシントン州事務所メンバー)

## 神戸で活躍するシアトル人 マリッサ・ナカミチ(Marissa Nakamichi)さん

JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）で、シアトルから市立須磨北中学校にALT（外国語指導助手）として赴任されているマリッサ・ナカミチ（Marissa Nakamichi）さんからメッセージをいただいたのでご紹介します。



-----  
Hello, my name is Marissa Nakamichi. I was excited to learn about the Kobe-Seattle Sister City Association because I am from the Seattle area. I arrived in Kobe last July to teach English as an Assistant Language Teacher on the Japan Exchange and Teaching (JET) Program. I currently work at Suma Kita Junior High School.

Over the past ten months, the city of Kobe has quickly become my second home. Kobe reminds me of Seattle in many ways, which is comforting since this is the first time I have lived on my own and outside of Washington state. Kobe and Seattle are both port cities surrounded by beautiful mountains and have similar weather in the fall, winter, and spring. I was thrilled to find out that I would be working in Kobe for the JET Program, especially since I had visited once before. As the 2003 Greater Seattle Japanese Community Queen, I was invited to participate in last year's Kobe Matsuri festival.

I look forward to meeting the members of the Kobe-Seattle Sister City Association soon!

## シルバーカレッジの学生がシアトルを訪問

神戸市シルバーカレッジの国際交流協力コース第10期生の学生11名が、7月12日（火）～19日（火）までの約1週間、グループ学習としてシアトルを訪問することになりました。現地では、シアトル市民との交流の場を持つ予定で、帰国後も相互の交流を深めていきたいということです。

我々も今後の活動を応援していきたいと思います。



## ワシントンワインメーカーズディナーに参加

前回のニューズレターでお知らせしたように、3月1日(火)~4月24日(日)の約2ヶ月間、新神戸オリエンタルホテルで「ワシントンワインフェア」が開催されました。日本ではまだ馴染みが薄いものの、世界的に評価の高いワシントンワインに出会える貴重な機会として、出向かれた方もおられるのではないのでしょうか。

さらに3月22日(火)には、ワシントンからワインメーカー(醸造家)を招き、選りすぐりのワインとそれに合わせたスペシャルディナーを楽しむ「ワシントンワインメーカーズディナー」が開催されました。

当日は、このために来日されたウッドワード・キャニオン・ワイナリーのオーナーで、醸造家のリック・スモール氏から、ワシントンワインと自身のワイナリーにまつわる歴史等を紹介いただきながら、スパークリングワイン(ドメヌ・サン・ミッシェル)、リースリング、シャルドネ・セライロ、メルロー、カベルネ・ソーヴィニオンといったワインと、それぞれのワインに合う、神戸近郊で獲れた食材を使った料理を楽しみました。それぞれのワインの特徴をよりはっきりと味わうために、料理とワインを1対1で合わせるだけでなく、1つの料理に複数のワインを合わせて組み合わせの妙を楽しむなど、様々な試みも楽しみました。

ウッドワード・キャニオンはワシントン州で最高のメルローとシャルドネを手がけたワイナリーとして知られています。どのワインも、芳醇で深い味わいと、フレッシュなフレーバーの香りとのバランスが絶妙でした。

関西ではまだ入手が難しいワシントンワインですが、近いうちに神戸からワシントンワインの素晴らしさを発信できるようになればいいですね。



ワシントンワインと神戸の食のマリアージュ

### Wine Maker's Dinner

~ワシントンワインと神戸の食を楽しむ夕べ~

2005.3.22 TUE  
7:00pm-9:30pm

35F Sky Party Room  
¥16,000  
(お料理・お飲み物・サービス料・税別)

アメリカ第二のワイン生産地、ワシントン州のウッドワード・キャニオン・ワイナリーより、リック・スモール氏をお迎えして、選りすぐりのワインと地元の旬の食材を使ったスペシャルディナーをご堪能いただける一日限りのイベントを企画いたしました。  
日本ではまだ馴染みが薄いものの、世界的には高い評価を受けているワシントンワイン、ワイン通りにこだわりと情熱を傾けてきた生産者のお話ともにお楽しみください。  
協賛: 神戸市観光局、ワシントン州観光局



## 震災10年 神戸からの発信 日米子育てフォーラム in Kobe (Part1) 開催

～「子どもが育つ魔法の言葉」の著者ドロシー・ロー・ノルト博士をお迎えして～

震災が与えてくれた教訓としての「人と人との絆」の重要性を、次世代を担う子どもたちにどのように伝えていくのかを議論するフォーラムを開催します。

国境を越えたテーマとして、現在の子育て・教育の深刻な問題についても、各界からのパネリストを交えてディスカッションをします。最後には会場からの質疑・応答の時間も予定しております。

当日は別室で子どもを預かり、KIDS PROGRAM や PLAY ROOM で楽しい時間を過ごしてもらおうと企画しています。(有料)

皆様お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

日 時：7月23日(土) 13:00～17:00

会 場：神戸ファッション美術館5階 オルビスホール

定 員：300名(先着順)

参加費：2,000円

申込方法：往復はがき、又は FAX で、住所・氏名・性別・電話番号・e-mail を書いて、以下までお申込みください。

<往復はがきの送付先>

〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3-11-6

NPO 法人 神戸アスリートタウンクラブ

イベント事務局「日米子育て交流フォーラム」係まで

<FAX の送付先>

(078)797-6361 まで

(主催) 日米子育て交流フォーラム in Kobe 実行委員会

(後援) 兵庫県・神戸市・神戸市教育委員会(予定)

神戸ーシアトル姉妹都市協会は本フォーラムへ参画しています。

お問い合わせ：078-797-6361

詳しい内容についてのお問い合わせは

日米子育て交流フォーラム実行副委員長 八木 絵里

(TEL/FAX (078)785-8205)

**当日に会場でお手伝いしてくださるボランティアを募集しています。**

講演の間お子さんをお預かりする KIDS ROOM、PLAY ROOM でのお手伝いや、会場係など、皆様のご協力をお願いします。

ご協力いただける方は、八木(078-785-8205)までご連絡いただけますようお願いいたします。

## ホストファミリー登録受付

シアトル他、海外からのゲストを受け入れてくださるホストファミリーの登録を受け付けています。ホストファミリーとして、ゲストの受け入れに興味・関心がある方、また、内容や時期などによっては受け入れが可能な方も是非登録してください。

登録していただいた方の中から、個々の条件に合いそうなゲストが来られたときに、直接ご連絡させていただきます。

登録を希望される方は、①「ホストファミリー登録」、②氏名・年齢（代表者だけで結構です）、③住所、④家族構成（性別、年齢もお書き添えください）、⑤最寄駅、⑥その他希望事項（受け入れ条件などの希望がありましたら必ず書いてください）をお書きいただき、FAXにて八木宛（(078)785-8205）にお送りください。皆様の登録をお待ちしています。

### **Special Thanks**

**高橋弘美様から寄付金を頂きました。ありがとうございました！**

### **A Big THANK YOU To Our Corporate Sponsors!**

**オルカ・インターナショナル(株)**

<http://www.orca-international.com/jp/>

**神戸国際協力交流センター（KICC）**

<http://www.kicc.jp/>

**日本食文化環境研究所（Food Approach）**

<http://foodapproach.com/index.htm>

# 神戸ーシアトル姉妹都市協会

## Kobe-Seattle Sister City Association

(代表者) 八木 絵里  
(連絡先) 〒655-0007 神戸市垂水区多聞台1丁目10-20-507  
Tel/Fax (078)785-8205

### 【活動内容】

当協会は草の根交流のサポート、推進を行うための団体として、以下のような活動を中心に行ってまいります。

- ①会報誌の発行
- ②交流会の実施
  - ・姉妹都市協会会員やシアトルから来神している人を対象とした交流会やイベント等の開催
- ③国際交流事業の実施・サポート
  - ・神戸市の事業への協力や各種交流プログラムのサポート
  - ・シアトルー神戸姉妹都市協会（シアトル側協会）との連携・交流（姉妹都市提携50周年に向けた活動を予定）

※ この他にも今後様々な活動を行っていく予定です。

### 【年会費】

学生会員 1,000円（18歳以下）  
個人会員 3,000円／1口 法人会員 20,000円／1口

当協会の活動は、設立主旨に賛同された会員の方々のご協力、ご支援により運営してまいります。

上記の他にも、当協会の活動内容にご賛同いただける方のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

当協会会員にお申し込みいただける方は、以下の様式に必要事項を記入のうえ、事務局代表八木宛に Fax をお送りください。後日、会費の振込先をご連絡させていただきます。

住 所 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_  
Tel/Fax \_\_\_\_\_  
E-Mail \_\_\_\_\_

(後 記)

シアトルから神戸に戻って早や2ヶ月が経ちました。シアトルで懐かしい顔に出会い、また新しい出会いもありました。シアトルでお世話になった全ての方に感謝の気持ちでいっぱいです。シアトルから神戸に戻ってすぐ、須磨ヨットクラブがシアトルのヨットクラブを招いてのレースを行い、その前夜祭にお誘いを受け出席しました。神戸にしながらシアトルの風を感じることでできた1日でした。

シアトルと神戸を結ぶもの、結ぶ人はこれからもっともっと多くなり、互いの絆はこれからもっと深くなるように思います。

私たちの活動を通して、神戸の素晴らしさをシアトルの人たちを始め、たくさんの人たちに伝えていきたいと思います。

(八木 絵里)



Seattle center

(神戸ーシアトル姉妹都市協会事務局)

代 表：八木 絵里  
神木 与治、牧田 映子